



ボランティア通信

発行：障害者支援施設 聖マッテヤ心豊苑
 〒514-0076 津市産品字中の谷 732 番の1
 TEL：059-237-5000 FAX：059-237-5078
 URL：<http://www.ztv.ne.jp/w3k3fp9s/>
 E-mail：shinpoen2@ztv.ne.jp
 発行日：2011年 秋号

ふれあいフェスティバル

今年の夏祭りもまた天候にも恵まれ、そして多くのボランティアの皆様を支えられ、事故もなく無事に終わることができ、利用者・職員共に感謝しております。

引き続き11月5日(土)に開かれる文化祭(ふれあいフェスティバル)のボランティアを募集しております。文化祭の準備・後片付け、屋台の営業、ゴミの始末などをお手伝いして頂くと共に、文化祭を通じて利用者様とのふれあいの場として頂ければと存じます。今年度は、日本レスキュー協会のレスキュー犬とセラピードッグが来ていただける予定ですので、併せてお楽しみ下さい。



(利用者さんとセラピードッグ)

今回の他のイベント

両施設の発表・よさこい・バンド演奏・高虎太鼓・バザー等

ボランティア募集 !! まずはお電話お待ちしております!

活動時間：10:00~17:00

連絡先 TEL 059-237-5000

※近鉄津新町駅からの送迎有

FAX 059-237-5078



伊賀忍者笑いヨガクラブ ・将棋ボランティア 藤川直紀さん



「2月に初めて、心豊苑に来させて頂きました。笑いヨガと将棋を交互にさせて頂いています。笑いヨガはいつも、初めに手拍子、深呼吸、子供に帰る、おまじないの3つのステップをやっています。皆さん、「子供に帰るおまじない」がとても気に入って頂いているようです。皆さんの反応から改めて、教えて頂いた大切なことは「素直」でした。



ボランティアさん紹介

三重大学よさこいサークル 極津さん

「津市を中心に活動をしている、よさこいサークル『極津』です。楽しい時間を過ごさせて頂き、本当にありがとうございました。津音頭がとても好評で嬉しかったです。極津の元気と笑顔を皆様にお届けできたでしょうか？」



読み聞かせ 山崎ヒロさん

「毎月一回、本や紙芝居の読み聞かせをさせて頂いています。いつも、利用者の皆様の瞳が、とても澄んでいる事を感じます。目は心の窓と言われるように、「美しい心をお持ちなんだろうな。」と感じます。いつの日か身体もいやされますように心から願っています。」

ボランティアさん募集

イベントや文化祭以外にも、外出の付き添、施設内の清掃や洗濯、本の朗読等の余暇支援活動、園芸作業などお手伝いをいただける方も随時募集しております。

小野朱美さん秋の短歌

- ・もうすぐに 秋ですよなどと 言うように 風が一筋 夕暮れの町
- ・小さな 秋の足跡 風からも 想像しては 少し寂しく
- ・どれほどに 暑さ厳しい 時でさえ エアコンさえも 冷たく感じ
- ・虫の声 微かに響き そんな中 必死に泣いてる セミの声をも

お願い



各ご家庭に置かれまして、使用されていない日用品・タオル・雑貨等がございましたらご寄付お願い致します。

新職員紹介

新しく心豊苑に入って来られた職員です。
皆様宜しくお願いします。



姉崎 恭子さん(看護師)

9月から週1~2回程度、「ひかり」で看護師さんサポーターをさせて頂いています。皆様と安全に楽しく過ごすことが、できたらいいなと思っています。よろしくお願い致します。



中尾 晃子さん(看護師)

「以前は、病院に勤務していました。障害者支援は未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。」

<ディアクティビティ>

スヌーズレンってご存知ですか？只今、計画中！

スヌーズレンという用語は、オランダ語で「クンクン匂いを嗅ぐ」、「うとうとする」という用語を組み合わせた造語で、外界を探索することや心地よくまどろむ状態を示すものです。

スヌーズレンとは、利用者を魅了する感覚刺激空間を用いて最適な余暇やリラクゼーション効果があります。

スヌーズレンの実践とは、スヌーズレン利用者様にとって受け取りやすい感覚刺激に満たされた物理的環境、そして利用者と支援者が楽しみや安らぎを共有できる雰囲気の中で、利用者が自分にとって意味のある活動に携わることです。利用者様が心地良い空間で過ごすことができ、リラックス効果を与えることができることを望んでいます。

(作業療法士 奥田景太)



マイブーム

「最近、ワンピースにもっぱら、はまっておりま。前々から友達に観てみたらと勧められてはいました。実際、観てみると、感動と笑いと涙のあるマンガだったんだと、衝撃を受け、ひよんなことからスイッチON。今では本だけにとどまらず、グッズ、期間限定ものとなれば、なおさら目がいってしまう有様です。ここで1つ・・・いや3つ・・・。涙なしには語れない私の数あるお勧めシーンの中から、ベスト3を発表します。1位・・・ベルメールがナミとノジコをかばって死ぬシーン 2位・・・ロビンと母オルビアの再会シーン 3位・・・チョッパーをDrクレハが見送るシーン「いっといでバカ息子・・・」。泣けるエピソードが豊富な点がワンピースの魅力の一つではないでしょうか。ハンカチのご用意をお忘れなく・・・(時岡愛理)



「福島へボランティア訪問をして」

8月29日から8月31日まで、福島県いわき市へボランティア訪問に行きました。6月末には岩手県の施設に派遣職員として行かせて頂きましたが、その時は被災の様子を目の当たりにして、言葉が見つかりませんでした。

今回の福島県の様子は落ち着いているように見えましたが、何件かは津波の被害を受けたままの状態でした。床の板をめくっての砂出しや傾聴ボランティアをさせて頂きました。地元のボランティア団体さんは、「物資の支援よりも心のケアの方に支援が変わりつつあります。」と言われていました。まだまだ様々な支援を必要としています。可能な方はぜひ一度、東北地方に足を運んでみてください。 (原田和人)

園芸だより

今年も昨年同様暑い夏、特に猛暑がきびしい夏でした。

台風も3回来襲し、強風によりゴーヤの棚、やさい類、花壇の花々もその都度倒れ、修復に忙しい毎日でした。

それでも台風15号通過後は一転して涼しくなり、秋の育苗期を迎え、パンジー、ビオラ等のブラグ苗をビニポットに植えました。又、秋蒔きの花々としてムラサキハナナ、ノースポール、ワスレナグサ、キンセンカ、ナデシコ等も播種し、苗が育つのを待ちます。温室前のコスモスも花が咲き出しました。

憩いの園の果樹では今年夏柑が数多く身をつけ目下緑色ですが、今後黄色に色づいてくれるでしょう。

今年もサルの大群が来襲し、クリ、ヘチマ等を荒らしていきました。



(温室前のコスモス)



(憩いの園の果樹)

(森川武道記)

・聖マッテヤ心豊苑、ひかりにお越しの皆様、感染症の対策として玄関前での手洗いをお願い致します。